

年10月、県が主体となり、関係市町村とで現地基礎調査を行い「平泉世界文化遺産観光開発推進アクションプラン」として作成しました。

本市における取組は推進本部を設置し登録に向けた庁内の体制整備を行い、19年度以降には、長者ヶ原廃寺跡、白鳥館遺跡に駐車場トイレ等の施設整備、一般観光客に分かりやすい観光説明手法等の検討、観光ガイドの養成、観光客の受け入れ態勢整備、また宿泊施設お土産品等産業の活性化策、中心市街地への道路の整備検討等です。これらの推進に当たっては民間事業者や関係団体との連携が不可欠であり、特に観光振興を主眼に活動している団体との共同施策が必要です。

修学旅行の誘致については一層の拡大が期待され、世界遺産文化の遺跡に止まらず、グリーンツーリズムなどの農業体験や北上川を活用した自然体験等を取り入れた複合的メニュー等の提供が可能になります。これらの有効な施策を民間と共に検討していきます。



○市総合計画の中間発表について  
子育て環境ナンバーワン構想について



お かつ 克夫  
さ とう 佐藤 議員

**質問** 市民要望の多い雇用・産業振興・人材育成が総合計画の中でどのように計画されていますか。

**市長** 総合計画の重点として雇用機会の創出・産業振興・人材育成。学校教育の充実を見据え、それぞれの現状と課題を整理し、施策の方向を多面的に検討し、奥州市の特色が表れる計画にしたい。市民主役で、若者の定住化を目指し、豊かさが実感でき安全・安心の街づくりの計画に仕上げます。

**質問** 子育て環境ナンバーワン構想は就学前教育・小中学校・高校生を含めた構想となりますか。

**市長** 子育て環境プランを今年度中に策定し、26年度末までの9年間に行うすべての支援策を盛り込み、総合的に進めていきたい。特に仕事と子育てが両立できる環境づくりを重点とし、保育料第3子無料化、小・中学校の整備、地元高校の整備にも努力したい。この構想には少子化対策を含め

た市民の意見・提言を施策に反映したナンバーワン構想に仕上げてまいります。

**質問** 生涯学習の充実策として特に特色をどのようにお考えですか。

**市長** 従来の5市町村が特色ある展開をしてきているので、奥州市の計画にとり入れて実践していきたい。その中で、団塊の世代を含めた高齢者の知識・技術を活かし小中学生の体験活動・総合学習等に協力を得、家庭教育の振興は教育振興運動・青少年健全育成運動を見直す中で、一層の充実をはかってまいります。



小正月行事で地域のお年寄りと触れ合う子ども達（江刺区）

金融機関に協力を要請し県・盛岡市・奥州市からの岩手競馬組合への融資額の減額を検討すべき



お よし お 善男  
おい 及川 議員

**質問** 日本共産党奥州市委員会の住民アンケートには、12月6日現在880名余の市民等皆さんから回答が寄せられています。その中で、「若手競馬事業をどのようにすべきか」という問いに対し、廃止すべきと回答された方が59%と過半数を超えています。存続を望む市長の考えと隔たりがあると思いますが、市民に対する説明責任があるのではないですか。

**市長** 市民理解を得る必要があると思いますので、1月から他のこととあわせて住民懇談会を開催する予定です。

**質問** 万が一岩手競馬が破綻した場合でも、公営企業金融公庫からの借入金は一括返済しなくとも良い方法があるようです。金融機関からの借入金を、県と盛岡市、奥州市の構成団体が立替融資し、金融機関に全額返済する計画を改め、構成団体からの融資額を極力減額すべきではありませんか。ま